無駄を新たな可能性へ導くプロジェクト

ムダモルフォーゼ

滋賀の芸術大学

成安造形大学の学生による

作品展示・販売会を実施中!

2022 10.19-10.25

10:00-20:00 (最終日は16:00まで)

ムダモルフォーゼとは?



「無駄(廃棄物)を変身(メタモルフォーゼ)させ、新たな価値をもたせた作品を制作し、発表するプロジェクト」です。大量生産と大量消費のアパレル業界において、売れ残り商品の廃棄が問題となっています。不用品に新たな価値を生み出す「アップサイクル」を推進していくために「阪急うめだ本店」や「イズミヤ」を運営するエイチ・ツー・オーリテイリング株式会社と連携し、廃棄物からアートを生み出し未来の作品づくりに取り組みます。

今までの取り組み



各地で素材が廃棄される。廃棄理由は「品質保持のため」、「売れ残ったため」、「販売期間を過ぎたため」など様々である。



2022

販売期間が過ぎた百貨店の売れ残り商品(廃棄物)活用法の考案を依頼される。成安造形大学 1~4年生でプロジェクトチームを結成。

チーム結成



成安造形大学生を中心にジャンルを問わず廃棄物を使用したアートの公募を行い、応募者は 実際に廃棄素材に触れながらアイデアを発想。



阪急うめだ本店バイヤー監修の元、展示・販売会に作品を出店するクリエイターを決定。 応募には22件の応募が集まった。



商品製作開始。試作を繰り返し、阪急うめだ本店のバイヤー監修の品質審査を経て店頭に 並ぶ商品を作る。



2日間に渡り、イズミヤ堅田店にて作品の展示会を実施。特設会場では廃棄素材を用いて製作した作品や店舗装飾を見ることができる。

リサーチプログラム

素材への理解と可能性

クリエイターの方々には制作に取り組む前に実際に素材に触れてもらう機会を設けました。それぞれの素材の理解を深めた後、クリエイター同志で価値観や思考を共有するワークショップでアイデアを出し合い、作品制作に向けてスタートしました。

2022

05.06-05.16 「ムダをどうメタモルフォーゼできるか」



